

第1学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 みんなすてきだね

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

一人一人のよさを認め合い、友達を大切にしていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

道徳科「みんなじょうず」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

道徳科「ちょうのともだち」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

道徳科「はしのうえのおおかみ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

生活科「あきのおもちやをつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間

学級活動「ともだちのいいところ みいつけた」・・・・・・・・・・・・ 1時間

(2) 現在の学習

道徳科「くれよんのくろくん」（絵本）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

(3) これからの学習

道徳科「りんごがたべたいねずみくん」（絵本）・・・・・・・・・・・・ 1時間

体育科「ボール投げゲーム」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

5 本時の学習

(1) 目 標

それぞれのくれよんのよさに気づき、互いに認め合って仲よくしていこうとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	B－（9） 友情，信頼
-------------	-------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 個性の尊重

(3) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ くろくんたちの気持ちを考えながら聞くことができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> くれよんたちは どんなことに、きがついたのだろう。 </div>	
2 仲間外しにされたくろくんの気持ちを考える。	○ 周りのくれよんの言動に着目させ、先入観で相手を判断することが相手をいかに傷付けるかということに気付かせる。
3 「ごめんね。」と言ったくれよんの仲間たちの気持ちの変化を話し合う。	○ 役割演技でくろくんにかける言葉を考えさせる。誰にもよさがあり、それを生かすことで互いに幸せになることに気付かせる。 ②
4 自分たちの生活を振り返り、学習のまとめをする。	○ 相手のよいところに気づき、互いのよさを認め合い助け合っていこうという意欲を高める。 ①

(4) 評 価

・互いのよさを認め、助け合おうとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】①

・自分の思いを表現したり、友達の考えを聞いたりすることができたか。

【技能的側面】②